

R6研究授業及び事前・事後検討会（指導助言：岡山大学学術研究院教育学域 講師 池田匡史 氏）

研究授業事前検討会【9/2(月) 実施】

- 5月に選定した5科目(言語文化、保健、生物、情報Ⅰ、世界史探究)の研究授業について、先生方の見学希望を募り、グループに分かれて事前検討を実施した。今年は「生徒の主体性を引き出す」をテーマに、各教科創意工夫を話し合い、「主体性」という奥の深い概念を本質から紐解きながら、各教科の特性を活かした取り組みをグループで検討した。助言者の池田先生から「自らの学習をマネジメントする」ことが、学習者の主体性を構成する大きな要素のひとつである、という助言を受けつつ、学習者＝生徒が自ら動いて学習へ向かっていくための仕掛け、動機づけ、きっかけづくりを検討する会となった。



研究授業【9月～10月最終週 実施】

- 上記期間で計5科目の研究授業を実施した。事前研修会で分かれたグループの研究授業を中心に、様々な教科をお互い積極的に見学する「研究・公開授業月間」と位置づけ、他教科の取り組みを具体的に共有した。

研究授業事後検討会【11/29(金) 実施】

- 事前検討会と同様、各科目のグループに分かれて事後検討会を実施した。研究授業を踏まえての感想の共有と、改めて学習における「主体性」とは、ということについて問い直した。「主体性」をどう捉えていくかについて、教科ごと、或いは教員ごとに様々であることを確認しつつ、「総合学科」の高校が目指すべき学力像と照らしたときに、主体性のどの部分にフォーカスするかを具体化していく必要があるとの助言を受けた。



➤

○事前検討会の内容：各教科の主体性を引き出す工夫・仕掛け

言語表現 伊勢物語

主体性を引き出す工夫・仕掛け：

工夫された授業プリント活用して、生徒が主体的に学習を進めていく授業を目指す。具体的には、プリントを中心として生徒が自主的に知識・技能を発揮する授業と、その授業を踏まえて教員が補足をしていく授業をひとつのまとまりとして学習を進めていく。また、プリント作成段階で生徒のつまづきやすいポイントをケアしておく。

保健 喫煙と健康

主体性を引き出す工夫・仕掛け：

スペシャリスト活動→ジグソーパズル活動→クロストークと段階を踏んだ生徒のグループワークを通して、「我が国に有効な喫煙対策」という問いについて深めていく。

生物 電気泳動法を用いた遺伝子の解析

主体性を引き出す工夫・仕掛け：

バイオテクノロジーの技術のひとつであるPCR原理の理解につながると考えられる実験で、目に見えない話を可視化し、わかりやすくするねらいがある。15人の少人数クラスで、3人×5班に分かれて全員が実験操作できるようにする。事前に知識がある状態で実験を行い、事前の練習もしておく。

情報Ⅰ Web、生成 AI、Excel、Teams などの活用

主体性を引き出す工夫・仕掛け：

教師が単元の説明を全てするのではなく、ICT 教材を基にして生徒同士で主体的に話し合いながら、課題に取り組んでいく。グループ内で役割を担い、協力し課題に取り組むように工夫する。教科書、Web、AI、を利用しながら、グループ内で話し合い、課題発見・解決させる。

世界史探究 宗教的世界の歴史の変遷

主体性を引き出す工夫・仕掛け：ひとつは、キリスト教の宗教画という絵画の作成時期と写実性から何が読み取れるかを考えさせ、生徒同士で年代別に並べ替えさせて、違和感を抱かせることで知的好奇心を刺激する。生徒にそのインパクトで馴染みのあるフランシスコ・ザビエルが日本に来たことには、実は宗教改革と深く関わりがあるという視点で授業を組み立てる。現在の主権国家として大きな国力を維持している国が、カトリック国が多いのか、プロテスタント国が多いのかを地図での分布で発見させる。

○事後検討会：「主体性をどう捉えるか」(一部抜粋)

授業を通して改めて、「主体性」とは

- ・1年生で、模試の問題を解説した後、生徒同士で問題を作って解き合いをさせる中で、生徒の主体性を感じられる行動が感じられた。
- ・明確な課題の設定が大切。
- ・競争の要素が大切。やる気の原動力になる。
- ・難関な国家試験レベルの問題にも、自らチャレンジすることのできるこのシステムがよかった。
- ・生徒自身が伝えたいとか聞きたいという自覚をもつこと。
- ・主体性とは自分の思いの自覚ではないかという観点。
- ・こちらの意図を理解して行動をすることと主体性の関連。
- ・感想文が量産型であると、量があっても主体性とは言えないのではないか。
- ・自分の生活のどのような場面に今の学習が生きるかということを考えるのも一つの主体性(主体的な考え方)といえるのではないか→これも一つの「自覚」といえるのではないか。
- ・少人数の班。指定した班ではなく、自由に班を作らせた。
- ・実験の成功するか否かは主体性とは無関係だった。
- ・授業内容を理解できているか否か。
- ・実験の成功体験、目で見て体験することで感動できた。
- ・座学だけとは異なり、自分で手を動かしたほうが印象に残る、ためになる。
- ・実験は主体性を引き出す。
- ・自分の力で単語、助動詞の意味を考える力を養い、自分で古典の学習ができるようになる。
- ・自分たちでできる。→興味関心が高まる。→主体性がわく。
- ・生徒自ら問いを発するのは、主体性が養われているのかな。
- ・主体性とは、自分で何かをしよう！自分で単語を調べて、助動詞を確認して、内容を理解することがゴール。
- ・自分で学ぼうとすることが主体性。
- ・主体性と自主性の難しさ。